

栗田元次 栗田元次 國史學者。明治二十三年十一月二日愛知縣生れ、昭和二十年十一月歿（八九〇―五）。大正二年東京帝國大學文科大學國史學科卒。廣島文理科大学教授、第八高等學校校長、名古屋大學教授等歴任。愛知縣文化財委員會會長を務めた。

著書 『膠州灣（獨逸の東洋經營）』（大正二年十二月）『赤城正藏刊「アガギ叢書」』（、『御家騒動の研究』（合著・國史講習會編、大正十四年五月十日雄山閣）、『綜合世界年表』（昭和十一年一月）二十五日博多成象堂）、『古川元春元長兩公二百五十年祭記念講演集』（瀨川秀雄公著、昭和十一年六月二十二日井原豐編刊）、『新修日本精神讀本』（合著、昭和十二年九月二十五日大阪・朝日新聞社）、『學問の新體制』（合著・大阪毎日新聞社編、昭和十六年十一月十日自費書局）、『藝備の古印刷文化』（昭和十九年二月十五日廣島・藝備文化研究會「藝備文化叢刊」）等。

